

番号	措置名	交付金事業の名称		
3	福祉対策措置	茨城県立医療大学付属病院維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		茨城県		
交付金事業実施場所	茨城県立医療大学付属病院(阿見町阿見地内)			
交付金事業の概要	看護師等医療従事者及び事務職員への給料及び職員手当(12月期の期末勤勉手当)			
総事業費	627,128,748	交付金充当額	426,336,000	
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	426,336,000	
交付金事業の成果目標	本病院は、県のリハビリテーション医療の普及・整備等、地域リハビリテーション体制の発展に中心的な役割を果たしている県立の医療機関であるため、交付金充当により人員体制を強化し、質の高いリハビリテーション医療医をより多くの患者に提供し回復を促すとともに、病床利用率の向上等を含めた経営の安定化を図っていく。			
交付金事業の成果指標	<p>○リハビリテーション医療実施率77%(現状値(H28実績):73.6%)  ※リハビリテーション医療実施率:入院患者一人に対する1日あたりのリハビリテーション実施数7単位(1単位:20分)に対する実施率  目標:5.39単位/7単位=77% H28年度実績 5.15単位(入院患者の平均)÷7単位=73.57%</p> <p>○病床利用率の向上85%(現状値(H28実績):82.72%)  ※茨城県立医療大学付属病院アクションプランより</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>平成29年度のリハビリテーション医療実施率は73.9%(5.17単位÷7単位)と成果指標は達成できなかったが、病床利用率は85.1%となり成果指標の85%を達成できた。達成できなかった要因として、リハビリテーションを実施する療法士を病棟ごとに配置しているが、病棟により月ごとの病床利用率に差があり、一時的に利用率が高くなると療法士が不足する状態が発生していたことが考えられることから、療法士が不足している病棟へ一時的に異動するなどの柔軟な人員配置体制をとることとした。</p> <p>本事業への交付金充当により、365日リハビリテーション医療の実施など充実したリハビリテーション医療の提供などにより病床利用率が向上し、経営の安定化を図ることができた。併せて、研究や教育、政策医療の向上が図られ、県民の皆様には質の高いサービスを提供することができた。</p>			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
人件費		雇用	—	627,128,748
		計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33